

第三期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会
（第6回）議事要録

- 日時 平成26年05月26日（月）午後7時～午後9時
- 場所 クリーンセンター3F 見学者ホール
- 出席 小澤紀美子会長、水谷俊博副会長、村井寿夫委員、塩澤誠一郎委員、藻谷征子委員、島英二委員、押元正樹委員、興梠信子委員、木村文委員、千綿澄子委員、岡田敬一委員、平田昭虎委員、山崎君枝委員、越智征夫委員、高石優委員、金子和雄委員、新垣俊彦委員、木村浩委員
事務局（馬場主査他）
コンサルタント（株式会社日建設計 高津敬俊主管他）傍聴者4名、記者0名
- 欠席 高橋健一委員、早川峻委員、高橋豊委員、島森和子委員
- 配布資料 1. 工事着工について、2. 仮囲いワークショップ資料、3. 視察報告資料、4. 藤浩志氏プロフィール、5. クリーンセンターを核とする周辺まちづくり整備検討イメージ

1. 建設事業の進捗報告について

- ・資料1「工事着工について」に基づき、工事の進捗状況について事務局より説明があった。
- ・委員 表土保全について、どのような対策をしているのか説明してほしい。
- ・委員 通常であれば掘削土を場内保管し、適切な埋め戻し措置を取るが、本工事においては保管しておくスペースがないため、どうしても難しいという事をご理解いただきたい。
- ・委員 埋め戻し土は往々にしてコンクリートガラが混ざっていたりするため、現在の表土を別の場所で保管し、再利用するのが植物の生育にとっては理想的ではある。残土の搬出先・埋め戻し土の成分等、記録を残して報告していただきたい。
- ・委員 残土の管理状況については履歴を残しているので、委員からの提案も含め、事業者と協議していく。

2. 仮囲いアートに関するワークショップの実施について

- ・資料2「仮囲いワークショップ資料」に基づき、工事中の仮囲いのアートについて事務局より説明があった。
- ・委員 紹介させて頂いた長谷川仁さんは、数年前から武蔵野市在住で、工事現場の仮囲いのアートプロジェクトも手掛けられている。最近では東京芸術劇場の改修工事の際に担当され、今回と同様に子どもが参加したワークショップで作っていくという内容だった。こういったアーティストの方が身近にいるという事で、いい作品になればよい。
ただ、歩道の一部を占有するため、安全管理をどのように行うかといった事や、工事完了後はどうするのかといった課題があるため、今後打合せをしながら進めていきたい。

3. 視察報告

- ・3月11日に行われた、「江東区環境学習情報館 えこっくる江東」、「ナカダイ 品川ショールーム」、「東京ガス 環境エネルギー館」についての事例視察報告を事務局より行った。
- ・委員 えこっくる江東の事例で非常に参考になったのは、建物が行政の持ち物でありながら、運営する人員は嘱託職員やボランティアが多いということ。こういった啓蒙施設には経費がかかるため、同様の方式を武蔵野市でもぜひ検討してほしい。
- ・委員 印象的に感じたのは、施設自体が立派であっても、それだけでは伝わらないということ。インタープリターやボランティアの方が担当されていたサポーターがいて、初めて展示が活きてくるのだと感じた。エコプラザでは、この場所ならではの事も考えなければならぬし、地球環境から話を持ってくるのは難しいと感じた。
- ・委員 えこっくる江東について、1階の常設展示ゾーンは非常にいいものだったと思うが、エコプラザに導入する内容ではないと思う。直接ごみを見ながら、ごみとはこういうものだというような形で学べるようなものができればいいと感じた。

4. 廃材活用プロジェクトに向けた意見交換会の開催について

- ・資料4「藤浩志氏プロフィール」に基づき、廃材活用プロジェクトについて事務局より説明があった。
- ・委員 藤さんは決してワークショップのような活動だけをしている方ではなくて、その地域の風土とか、そこに暮らしている方々が生活の中でもややと抱えている悩みなどを皆で話し合うことで、何かをプロジェクトにしていくような方。その地域の課題に少しアート目線を加えた中で、地域の課題を解決していくプロジェクトを立ち上げていくというような活動をしてきている。今回も、せっかくディスカッションする機会に恵まれたので、直截的にここでどんなプログラムをやったらいいかという議論を最初から始めるよりは、日ごろ感じていることを藤さんに聞いてもらって、武蔵野を知ってもらおうといったところから入っていくのがいいと考えている。
- ・会長 近隣で活動している学生、小中学校の美術の先生など、若い人の意見も入るような取り組みをすると、発想の展開をしてもらえるようなことがいいかなと思うので、ぜひお誘いをさせていただきたい。

5. 周辺整備の今後の検討

- ・資料5「クリーンセンターを核とする周辺まちづくり整備検討イメージ」に基づき、周辺整備の方針について事務局より説明があった。
- ・委員 この中で重要なのが、NTT 研究開発センタとの連携だと思っている。技術史料館との連携だけではなくて、研究開発センタ全体との連携が必要では。エコプラザができることによって、研究開発センタ側も顔になるので、空間的な魅力を高めるために連携することが非常に重要になってくると思う。
- ・委員 周辺まちづくりで、今回はさらに具体的に進んだ印象を受けた。防災安全部長も入って、

武蔵野市の防災長期計画の反映も進めるような形となり、コミュニティセンターを所管する市民活動担当部長も加わってまちづくりを推進していくことは非常に頼もしい。安全・安心そしてまちづくりに非常に期待を持ってこれから進めていきたいと感じた。

- **委員** 庁内推進本部については、これまでも検討内容が周辺住民にはよくわからないことが多かった。具体的な内容になってきたので、今後は、庁内推進本部での検討状況を周辺住民へも報告してほしい。
- **委員** 複数の防災上重要な施設が地域に存在するため、それぞれの連携が重要なことだと思う。うまく横でつないで話をしてほしい。
地下水位はどのくらいか。もし地下水が出るのであれば、今の市役所の周囲の池に持っていったり、施設の中で利用したり、水の循環ができないか。水源が出れば活用できないか。それから、バラ園のところにあった風車は揚程に向いている風車だと思う。武蔵野市の歴史として交流都市から贈られた風車をどこかに活かす等、文化的な側面も含めて十分内部で話し合っていたらと思う。
- **委員** 今回視察に伺った施設はどれもよくできていると感心したが、それが、市民から関心を持たれるような形になっているかが気になった。財政的に負担をかけて維持しているという印象を受けた。町中にたくさん問題がある中で、その問題と直接結びついてやることを探し出せない、施設としては長続きしないのではという感じがする。
- **委員** 西側歩道を広げるのは大変いいが、緑町コミュニティセンター側の土地が減ってしまう。様々な活動を行うためには屋外の広場が欲しいので、南側のテニスコートや、その間にある土地なども含めて様々な活動ができるようなこともぜひ考えていただけたらと思っている。また緑町コミュニティセンターのエレベータについては、利用者みな希望している。
- **委員** テニスコートに関しては動かないような状況になったのか。緑町コミュニティセンターとエコプラザの間を、もう少し庭みたいにしてそこにバラ園を持つてくるという話を聞いたことがあるが状況はどうか。
- **委員** 庁内推進本部の検討状況については、適宜報告していきたいと考えている。バラ園のところにあったラボックの風車は倉庫で保管している。風車の活用などについては、今後検討していきたい。テニスコートと野球場は、スポーツ施設としては必要な施設であるため、確保したいと考えている。その上で、西側の歩道はできる限り確保し、もう少し開放的な街区整備を進めていくということは、今まで議論を積み重ねてきたところだと思う。その辺を技術的にどのようにできるかというところも含めて検討していきたい。

6. その他

- 6月17日に藤浩志氏を交えて意見交換会を開催する旨について、事務局より説明があった。
- 次回の協議会は6月17日の意見交換会を踏まえて、その後の日程を決定していきたい。おおよそ8月か9月になると考えている。改めて案内をする予定。

以上